

かづさ くちのつ
加津佐・口之津地区都市構造再編集集中支援事業(長崎県南島原市)

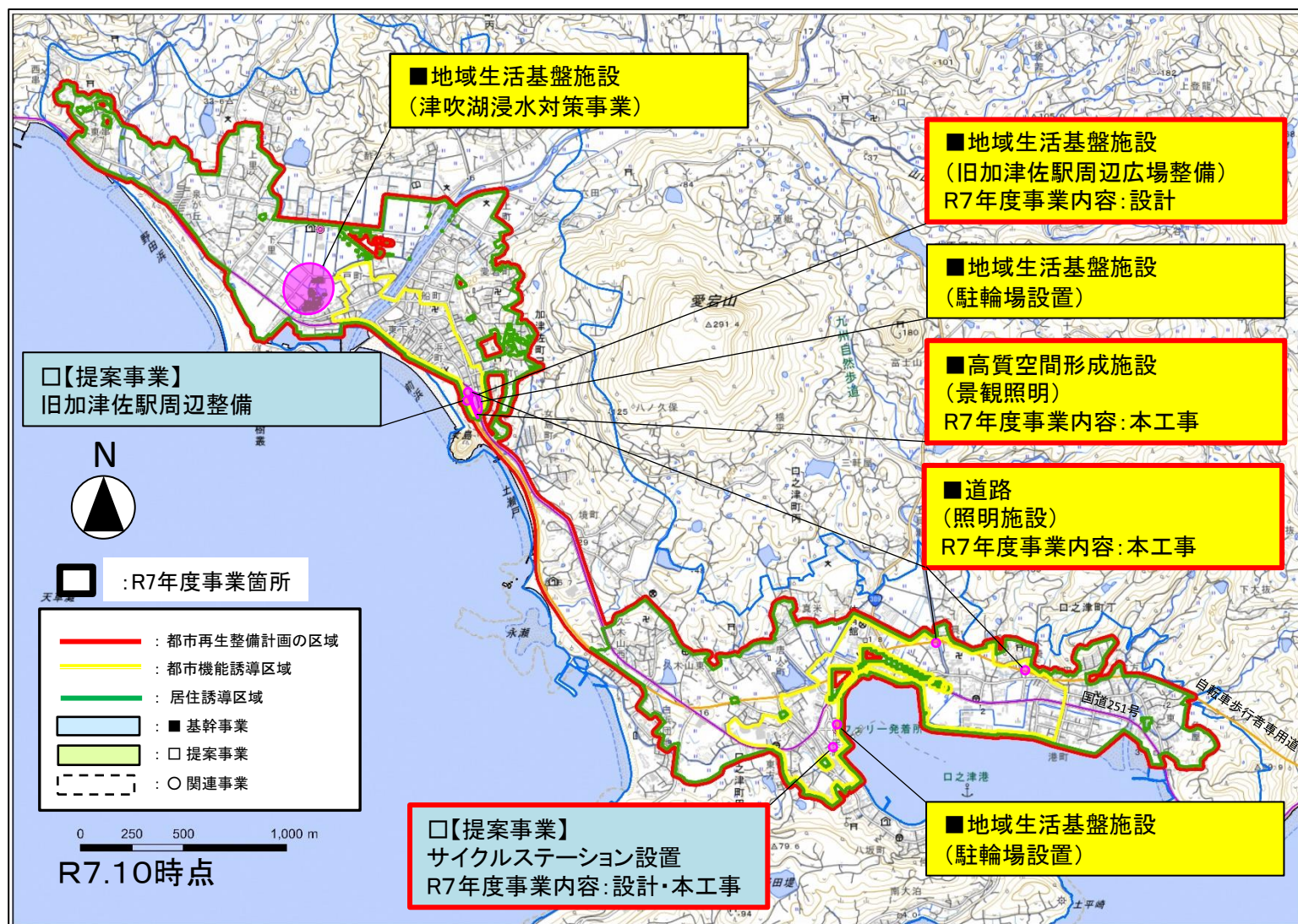
R7年度ver.

- ◆事業概要:市内を横断する自転車歩行者専用道路の起点として市民や観光客の交流の場を整備し、賑わいのあるまちを創出していく。
口之津港ターミナルビルにおいてレンタサイクル事業を行うための施設を整備し、観光客の利便性を向上させ、市の観光拠点として整備を行っていく。
- ◆事業主体:南島原市 ◆面積:261.7ha ◆交付期間:令和7年度～令和11年度 ◆立地適正化計画公表時期:令和7年3月
- ◆全体事業費:576.6百万円 ◆交付対象事業費:576.6百万円(国費交付限度額:260.8百万円) ◆国費率:45.2%



人口 4.1万人(R6.4時点)

○関連事業
市道南島原自転車道線
整備事業(R2～R7)
L=32.1km



か づ さ く ち の つ
加津佐・口之津地区都市再生整備計画事業
(都市局所管補助金)

1. 概 要

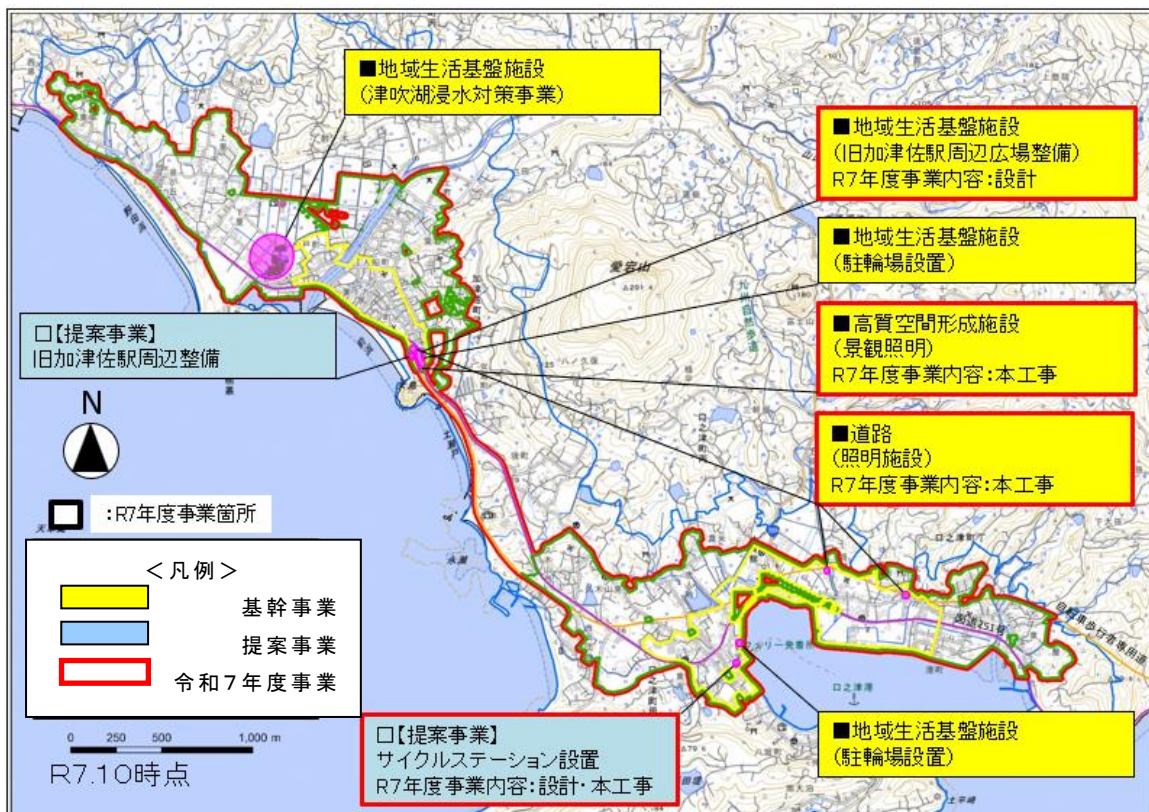
本地区は長崎県の南東部に位置する南島原市の最南端の地区であり、地域生活拠点として周辺の集落を含めた生活や地域活動などを支える都市機能を維持していき、暮らしやすさを支える生活サービスを提供していく地域である。しかしながら、人口減少が進んでおり、このままでは都市機能の維持が困難になる可能性がある。

このことから、本地区に都市機能を維持していくために自転車歩行者専用道路を軸に観光事業を拡大し、賑わいのあるまちづくりを行っていく。

令和7年度は自転車歩行者専用道路の道路照明設備と景観照明の整備、旧加津佐駅周辺整備事業、サイクルステーション設置を行う。

2. 計画内容

所在地：ながさきけんみなみしまばらし 長崎県南島原市
事業主体：南島原市
面積：261.7ha
交付期間：令和7年度～令和11年度
全体事業費：576.6百万円
交付対象事業費：576.6百万円（国費：260.8百万円）
事業内容：道路、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、提案事業



都市再生整備計画

か づ さ く ち の つ ち く だい かい へん こう
加津佐・口之津地区(第1回変更)

ながさき みなみしまばら し
長崎県 南島原市

令和7年10月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォーカブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	長崎県	市町村名	ミナミシマハラ 南島原市	地区名	カブサ 加津佐・口之津地区	面積	261.7	ha
計画期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	
交付期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	

目標
大目標:地域の価値を高め、多様な交流により活力を生み出す 目標1:加津佐・口之津地区の魅力向上 目標2:観光を振興し、交流人口を拡大する 目標3:安心して暮らせるまちづくり
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) 南島原市の総人口は減少の一途を辿っており、生産年齢人口及び年少人口は減少が続いている。今後は、高齢人口は増加が続いていたが今後は減少へ転じる予想となっている。一方で、高齢化率は上昇の一途を辿っており令和15年には5割を超える見込みである。また、本市は島原市と雲仙市に隣接し、主な公共交通機関は、路線バスとチョイソクみなみしまばらである。 今後は、高齢者がいつまでも安心して住み慣れた地域で暮らせるまちづくりを目指し、高齢者の日常生活に必要なサービスを受けることが困難とならないよう移動手段の公共交通の維持を図る必要がある。 南島原市は旧8町が合併し、既に一定程度の人口集積が見られ、現状の生活サービスを維持する基礎が存在している。しかしながら、今後さらなる人口減少・高齢化の進行が予想され、効率的なまちづくりが求められる中、持続可能なまちづくりを実現させるためには、集約した地域を中心とし、求心力のある賑わいのあるまちを形成することが必要となる。 これらを踏まえ、市全体として持続可能なまちづくりを行ううえで、コンパクトなまちづくりを行い、地域の人口密度を維持し、それらを公共交通ネットワークで繋ぐことが必要である。また、現在整備推進中の自転車歩行者専用道路を最大限に活用し、自転車歩行者専用道路の起点地域として市民や観光客の交流の場を整備し、賑わいのあるまちを創出していく。 以上の施策を実施することにより、都市機能の拡散防止と中心市街地の公共・公益サービス機能の維持を図り、賑わいのあるまちなかを創出する。
まちづくりの経緯及び現況
本市は平成18年3月31日に深江町、布津町、有家町、西有家町、北有馬町、南有馬町、口之津町、加津佐町が合併して誕生。長崎県の南東部、島原半島の南部に位置し、南は有明海に面している。 本地区は農業漁業を基幹産業とする区域であり、美しい海を有している。島原半島県立公園の一部である美しい砂浜や自然林を有し、キリシタン墓碑に代表される文化遺産などにも恵まれた地区である。 歴史は古く、16世紀にはキリスト教が栄え教会やセミナリヨやコレジヨが設立された。島原天草一揆では、加津佐の住民も原城に立てこもり全員が戦死したため一時無人の地区となったが、その後、移民により町は再興した。 本地区には、白浜海水浴場と、前浜海水浴場、野田浜海水浴場があり夏場は大いに賑わっていた。しかし現在は、野田浜海水浴場が閉鎖され、海水浴場は白浜海水浴場と前浜海水浴場のみとなり、海水浴客が徐々に減少してきているが、前浜海水浴場と野田浜海水浴場の二つの浜に挟まれた位置に高さ約90mの岩戸山があり、その頂上東端には大智禪師が座禅していたという座禅席があり加津佐・口之津地区や天草の島々が一望できる魅力がある。 また、地区北西部には商店街が残っており、地域住民の生活交流の拠点としての役割を担い、日常生活において必要不可欠な地域である。 地区南東部には、市内唯一のフェリーターミナルが存在し、熊本県天草市と繋がる場所として、観光の拠点となる地区である。しかしながら、新型コロナウイルスの世界的流行の影響で観光客は減少した状況である。
課題
・地域の魅力向上に向け、市民や観光客で賑わう場を創設する必要がある。 ・外国籍観光客のニーズも高い無線アクセスポイントを整備し様々な情報を発信する必要がある。 ・自転車歩行者専用道路の全線開通に伴い、利用者数増加による事故を未然に防ぐとともに新たな観光資源として魅力ある空間づくりが必要である。 ・歩行者や自転車利用者が安全に通行できる空間を整備し、区域内及び周辺地域への回遊性を向上する必要がある。 ・浸水想定区域内に要配慮者利用施設、指定避難所・指定緊急避難場所が立地している。
将来ビジョン(中長期)
南島原市立地適正化計画(令和7年3月策定) ・生活サービスを提供する拠点の形成と拠点をつなぐネットワークの構築 ・市民が暮らしやすい・住み続けられるまちづくり ・災害危険性の高い区域への居住の抑制と防災・減災対策の推進
南島原市都市計画マスタープラン(2025-2044)(令和7年3月改訂) ・住み続けたい、住みたくなるまちづくり ・賑わいと活力があるまちづくり ・南島原市らしい自然・景観を守り、活かすまちづくり ・誰もが移動しやすいまちづくり ・安全で安心できるまちづくり
第Ⅱ期南島原市総合計画 後期基本計画(2023-2027)(令和5年3月策定) ・太陽の恵みと地域資源を活かし、安定した雇用を生み出す ・地域の価値を高め、多様な交流により活力を生み出す ・結婚、出産、子育ての希望をかなえる ・健康で安心して暮らせる魅力的なまちをつくる

都市構造再編集 中支援事業の計画
※都市構造再編集 中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
都市機能配置の考え方 ・南島原市の中心として、多様な生活サービス機能が集積する、西有家・有家地域の市役所・有家庁舎を中心とした一帯を「中心拠点」として位置づける。行政や医療・商業・福祉・金融などの多様な都市機能の立地・集積を図ることで、地域内だけでなく、市域全体の生活を支える生活サービスを提供する役割を担う。 ・生活サービス機能の一定の集積が見られる、各地域に、深江・布津地域、北有馬・南有馬地域、口之津・加津佐地域を「地域拠点」として位置づける。各地域の周辺農村集落も含めた生活や地域活動、地域のコミュニティ等を支える都市機能を維持していくことで、各地域での暮らしやすさを支える生活サービスを提供する役割を担う。 ・新たな観光資源として自転車歩行者専用道路を最大限活用し、市の魅力向上、観光客の増大、交流の場の創出により市全域に賑わいをもたらす。
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目 標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
海水浴場利用客数	人	海開きから8月末までに海水浴場へ来場した人数	旧加津佐駅(前浜海水浴場)の整備を行い、利用客の満足度を向上させ、地元住民や観光客との交流人口の拡大を図り、地域のにぎわい創出を図る。	16,810	R5年度	17,410	R9年度
口之津歴史民俗資料館来場者数	人	口之津港ターミナルにある口之津歴史民俗資料館(本館・別館)へ来場した人数	航路の拠点である口之津港ターミナル周辺の整備を行い、口之津港周辺における観光客の利便性を向上させ、本地区に対する認知を高める。	5,387	R5年度	5,687	R9年度
浸水被害回数	回	津吹湖周辺における浸水被害回数	津吹湖浸水対策事業を行うことにより、指定避難場所付近の浸水被害を防ぎ、安心して避難できる環境を整備する。	1	R6年度	0	R11年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
目標1：加津佐地区の魅力向上 ・南島原市のシンボルとなり得る自転車歩行者専用道路の起点として交流人口の増加が見込まれる。そのため、市民や観光客の憩いの場を整備することにより、まちに賑わいを創出していく。 ・自転車歩行者専用道路全線開通に伴い利用者数の増加が見込まれるため、事故、事件を未然に防ぐ策として街路灯の整備を行う。 ・自転車歩行者専用道路全線開通に伴い新たな観光資源として整備を行う。		【基幹事業】(地域生活基盤施設 駐輪場)旧加津佐駅 【基幹事業】(地域生活基盤施設 駐輪場)口之津港ターミナル 【基幹事業】(地域生活基盤施設 広場)旧加津佐駅周辺広場整備 【基幹事業】(高質空間形成施設 照明施設) 【基幹事業】(高質空間形成施設 景観照明) 【提案事業】旧加津佐駅周辺整備(Wi-Fi整備) 【提案事業】サイクルステーション整備 【関連事業】市道南島原自転車道線整備事業
目標2：観光を振興し、交流人口を拡大する ・フェリーターミナルに自転車駐輪場を整備し、観光のまちとして交流人口の拡大を行う。 ・海水浴客の利用満足度を高め、観光を振興していく。		【基幹事業】(地域生活基盤施設 駐輪場)旧加津佐駅 【基幹事業】(地域生活基盤施設 駐輪場)口之津港ターミナル 【基幹事業】(地域生活基盤施設 広場)旧加津佐駅周辺広場整備 【提案事業】旧加津佐駅周辺整備(Wi-Fi整備) 【提案事業】サイクルステーション整備 【関連事業】市道南島原自転車道線整備事業
目標3：安心して暮らせるまちづくり ・浸水対策事業を実施し、安心して住めるまちづくりを行う。 ・自転車歩行者専用道路の整備を行い、歩行者、車いすが安全に移動できる空間を創出する。		【基幹事業】(地域生活基盤施設 地域防災施設)津吹湖浸水対策事業 【基幹事業】(高質空間形成施設 照明施設) 【基幹事業】(高質空間形成施設 景観照明) 【関連事業】市道南島原自転車道線整備事業
その他		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	576.6	交付限度額	260.8	国費率	0.452
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費	費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		市道南島原自転車道線(照明施設)	南島原市	直	3基	R7	R7	R7	R7	1.2	1.2	1.2	0	1.2	
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	広場	旧加津佐駅周辺広場整備	南島原市	直	A=150㎡	R7	R7	R7	R7	11.4	11.4	11.4	0	11.4	
	自転車駐輪場	自転車駐輪場(旧加津佐駅周辺)	南島原市	直	A=20㎡	R9	R9	R9	R9	2.5	2.5	2.5	0	2.5	
	自転車駐輪場	自転車駐輪場(口之津港ターミナル)	南島原市	直	A=27㎡	R9	R9	R9	R9	2.7	2.7	2.7	0	2.7	
	地域防災施設	津吹湖浸水対策事業	南島原市	直	1式	R8	R11	R8	R11	550.0	550.0	550.0	0	550.0	
高質空間形成施設		市道南島原自転車道線(景観照明)	南島原市	直	3基	R7	R7	R7	R7	0.8	0.8	0.8	0	0.8	
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	賑わい・交流創出施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業	高次都市施設														
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
合計										568.6	568.6	568.6	0	568.6	…A

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造	旧加津佐駅周辺整備事業	旧加津佐駅周辺	南島原市	直		R8	R8	R8	R8	1.0	1.0	1.0	0	1.0
支援事業	サイクルステーション整備事業	口之津港ターミナル周辺	南島原市	直		R7	R7	R7	R8	7.0	7.0	7.0	0	7.0
事業活用														
調査														
まちづくり活動推進 事業														
合計										8.0	8.0	8.0	0	8.0

居住誘導促進事業														
事業		事業箇所名	事業主体	直／間	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負分担		うち民負分担	交付対象 事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
居住誘導促進事業														
合計									0	0	0		0	576.6
											合計(A+B+C)		576.6	

...C

[illegible][illegible]

加津佐・口之津地区(長崎県南島原市)

面積	261.7 ha	区域	南島原市加津佐町己、乙の各一部 南島原市口之津町甲、乙、丙、丁の各一部
----	----------	----	--



加津佐・口之津地区(長崎県南島原市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標:地域の価値を高め、多様な交流により活力を生み出す	代表的な指標	海水浴場利用客数 (人)	16,810	(R5年度)	→	17,410	(R9年度)
	目標1:加津佐・口之津地区の魅力向上		口之津歴史民俗資料館 来場者数 (人)	5,387	(R5年度)	→	5,687	(R9年度)
	目標2:観光を振興し、交流人口を拡大する		浸水被害回数 (回)	1	(R6年度)	→	0	(R11年度)
	目標3:安心して暮らせるまちづくり							



- 道路
照明施設 R7
- 高質空間形成施設
景観照明 R7
- 地域生活基盤施設
旧加津佐駅周辺広場整備 R7
- 地域生活基盤施設
駐輪場設置 R9
- 提案事業
旧加津佐駅周辺整備 R8
- 地域生活基盤施設
駐輪場設置 R9

凡 例	
	都市再生整備区域
	都市計画区域
	都市機能誘導区域
	居住誘導区域
	基幹事業
	提案事業
	関連事業